

第2回鯖街道ウルトラマラソン 完走記

西川 剛

今年も KTC メインイベントのひとつ鯖街道ウルトラマラソン (以下 UM) が終わりました。スタッフとしてご尽力いただいた KTC メンバーの皆様方、お疲れさまでした。今年の結果はご覧の通り 9 時間 06 分 42 秒でした。それでは、諸事情と言いつ文を以下掲載いたします。

今年の 2 月にネットエントリーを無事済まし、大会当日に向けて徐々に調子を上げて行こうと考えていた矢先の 2 月 8 日 (水)、コナミスポーツ北大路から 2 月初めの寒さの中、鴨川 RUN へ、この季節、北に向かって終野方面は寒いので、南下して塩小路橋を折り返すことにした。シューズは過去 2 年間、花背トレイルランやトレイル練習で履き潰された SALOMON LABO という 2 万円程度の高いシューズでスタート。ランニングシューズとしての機能は既に失せているものの、価額が高いだけに捨てるに捨てられないまま履き続けてきたシューズである。走り始めたものの、空腹で集中力は低下している状態、塩小路橋さしかかる寸前、暗がりの中、コース取りが悪かったのか？ 手前の川端通に通じる階段下にある縁石に右足をとられ、足首の外側、内側をひねってしまった。一瞬息が止まる。ちょっとヤバいかもと橋を折り返し北大路橋に向かって、走って歩いての繰り返し。「何とかコナミスポーツまで戻ってきたぞ」、プールでみると足首はかなり腫れてきている。「まあ・・・ちょっと冷やしたら治るやろ」と思っていたが、その翌日の夕方、まさに痛風の如く痛みだし、声も出せない程の痛みで病院へ、レントゲンをとってもらおうが、骨には異常なし。寒気がするほどの強烈な痛みが続く、通勤は往復タクシー利用、道路の轍に恐怖心を抱く、右足を引きずり、足首をサポートで固定した生活が約 1 か月半続きました。当然全く走れません。その後も、なかなか大会に向けてのモチベーションも上がらず、少しずつ走り始めたのは 4 月中旬、練習は花背峠往復がメイン。途中リタイアもしばしばありました。約 2 か月のブランクを確かに大きかったです。そんな状況の中、当初の意気込みからかけ離れた状況下で迎えた今年のはじめの鯖街道 UM です。今年も出発日から超夏日、今年もヤサカ観光さんの午後 2 時時発バスツアーを利用しての参加です。今年もバスの中でコースガイドさせていただきました。車内は初参加の方が半数以上でした。午後 4 時 30 分に小浜せくみ屋ホテル到着。今年の出発会場はせくみや前の広場「まちの駅」に変更となりました。受付会場に KTC メンバーが少なかったため、少しお手伝いさせていただきました。

大会当日の荷物預け会場も同様に「まちの駅」、昨年までは台場浜公園でしたので、朝はかなりゆとりができました。今年是小浜市長からの挨拶があり、市を挙げてのイベント感が高まります。今年も不意に気合い一発掛け声を依頼され、ノーマイクで実施！！HP 掲載のいい写真が撮れましたね (笑) 午前 6 時スタート！！今年はかなりハイペースでスタート。私はトップ集団からは離されて、どんどん後ろのグループの中へ。9.4 キロ AS で 47 分、15 キロ AS で 77 分と例年よりも遙かに遅い、これまでに女性ランナーにも抜かされる。山中も走りたいが、足が思うように動きません。小入谷からはロード走、20 キロ過ぎ百里小屋 AS では、ソーメンや果物をいただき、暑さ対策に水を被る。ロードがツライ、スピードが出ない。抜かされる。山本酒店への AS までの道のりが長くて仕方がない。久多 AS 到着。この時点で 4 時間超。いつもは追いつけ追い越せでゆっくりしたことがなかったが、ホント何年ぶりかにおにぎりやきゅうりなどをゆっくりいただき、恵子さんをはじめ KTC の方と談笑しました。鯖街道後半戦のオグロ坂越えです。意外に前半の林道部分は走れたのですが、途中ほぼ歩きばかりになりました。右足全体の筋力やバランスがまだまだ本調子ではないことがはっきりわかりました。オグロ坂峠以降、二ノ谷 AS に向かう林道やトレイル下りも足をかばい歩きメイン。この時既に鯖 B の選手にも追いつかれています。今年は大見 AS がいないため、二ノ谷でしっかり補給する必要があります、ここでも全ての AS 提供物をいただきゆっくりさせていただきました。杉峠までの約 5 キロ道は疲れた足に堪える登り基調のガレ場道、杉峠からの下りも同じ状況が続く、鞍馬 AS では水を被り、あと 12 キロ、今年松田さんの西賀茂橋 AS でもゆっくり飲み物を頂いてあとひと踏ん張り、後続の選手とは随分距離

はあるようだ。出雲路橋を潜り、西に渡り、あと1キロ！！今年もタイムは遅いものの、初夏の青空・晴天の出町柳が私を迎えてくれている。モチベーションの低下もあり、完走できるか心配でしたが、何とか完走できそうです。葵橋を走り抜けあと200m。ゴールが見えました。ゴール綱村さんや奥野さんに迎えられ重い足取りと笑顔でゴールしました。これぞ鯖街道UMという感じですが。本当に結果はいまいちでしたが、これまでのことを考えると仕方ありません。好天に恵まれレース後の一体感は祭りさながらの大賑わい、年々一体感が増しているように感じられます。今年から実行委員長になられた小島さん、最後の最後まで倉庫に荷物運び、暑い中、ゴールやコース上で尽力された奥野さんや上崎さんらスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。新たな発見のあった第22回大会でした。それにしても当日は暑かったですね。今年の参加賞おしゃれですね。

懲りずにまた来年も選手として挑戦しますので、どうぞよろしく願いいたします。

<鯖街道ウルトラマラソン 過去の自己記録>

年	タイム	順位	年	タイム	順位	年	タイム	順位
2001	9:11:09	?位	2008	6:41:46	2位	2015	7:07:15	7位
2002	?	?位	2009	6:36:42	2位	2016	7:17:27	7位
2003	7:25:38	?4位	2010	6:39:45	1位	2017	9:06:42	70位
2004	8:24:17	?位	2011	6:54:24	2位			
2005	6:54:22	3位	2012	7:02:42	3位			
2006	6:42:28	2位	2013	7:00:53	6位			
2007	6:37:54	2位	2014	8:19:33	29位			